

ロータリー：  
変化をもたらす

## 2017年4月10日(火)第1767回 柏南ロータリークラブ 週報

2017-2018年度会長：小林 亘 幹事：小林義和

## 会長挨拶

今日は柏市内の公立中学校の入学式が一斉に行われているようであります。柏の葉に新設校が一つ増えて21校だそうです。新しい制服に身をまとい初々しく父兄と一緒に歩く姿があらこちらで、私もああいう時期があったなど当時を思い起こしたりして懐かしい気持ちになりました。

先週の月曜日は、麗澤大学の入学式に参加をさせて頂き、ここでも790名の若者から元氣をもらって帰って来ました。

翌日の観桜例会では、朝から気温も高く、「残る桜も散る桜かな」が気になりながら夕方この会場に着くと今日は葉桜、参加者も少なく、今回は盛り上がらないのかなとある程度覚悟をしての開会でありました。その意に反して、終わってみるとこれほどに盛り上げる事が出来るのかと、ひとえに皆様の盛り上げようとする現場力に感謝いたします。

参加者も総勢78名、会場がいつもより広かった分、少なく感じましたが、結構来てくれたのだと、私的には充分過ぎるくらい満足のいくものでありました。ありがとうございました。

寄付金の贈呈も無事に終える事が出来、奉仕活動においては大きな節目を迎える事が出来ました。合わせて皆様に感謝を申し上げます。

年度初め子どもの貧困という事でスタートして、節約ランチとチャリティコンサートで70万円ほどの原資をつくり、九州北部豪雨災害の被災者への義捐金、柏市社会福祉協議会を通じての柏市子ども未来基金、そして柏市ふるさと寄付金事業を通じて子育て支援へと分配をさせて頂きました。



## 卓話：岡田勝久会員

私の父は、新潟県小千谷市出身で、中学を卒業してから、千葉に上京し、我孫子の会社でサラリーマンとして働き始めました。母の方は、茨城県水海道市（今の常総市）出身で、高校卒業後に父と同じ我孫子の会社に就職しました。母は、しばらく水海道の実家から通っていましたが、通勤の便も悪く、妹が先に一人暮らししていた事もあり、ほどなくして妹と一緒に生活しながら会社に通っていたそうです。

母の話しによると、父の猛烈なアプローチにより、正直最初はストーカーみたいで気持ち悪がっていたようですが、しつこいから仕方ないからということで交際を始め、結婚する事になったようです。結婚後間もなくして、昭和50年に私の兄が生まれ、その2年後の昭和52年に私が生まれました。兄と私の2人兄弟です。

私は我孫子市内の病院で産まれましたが、人生のほとんどを柏で過ごしています。

記憶にはありませんが、産まれて間もなく1~2歳の時に我孫子市内の社宅から柏市布施の現在の実家に移り住みました。

当時は今と違い家の裏が森で、野うさぎが走り回っている姿も見られました。そういう中で毎日家の裏で野球をしたりして幼少期を過ごしました。新興住宅地だったこともあって、近所には年齢の近い子供が何人かいましたが、その中でも私が一番年下でした。そんなことからついた私のあだ名は「ちっちゃい人」。毎日周りからちっちゃい人、ちっちゃい人と呼ばれて遊んでいましたが、お蔭さまで今では兄も越して身長だけは一番大きくなりました。

その後、実家で大学を卒業するまで生活していましたが、高校を卒業するまでサッカーに明け暮れる毎日を過ごしていたので、あまり家族と過ごした記憶が正直言ってありません。兄は野球をやっていましたし、父は休みの日には雨でも雪でも釣り三昧でしたので、ほとんど時間が重なる事はありませんでした。

特に兄とは恨みあったという訳ではありませんが、大人になるまで10年以上ともに口をきかなかったと思います。最近では、会えばそれなりに言葉を交わしますが、言葉を交わし合うようになったきっかけは母の病気でした。

母が癌で他界して今年で3年になりますが、母の癌が発見された時はすでに結構病状が進んだ後だった事もあり、家族の繋がりとは必然的に強くなりました。

それまで私自身もあまり実家に顔を出す事はありませんでしたが、母が病院に通院する日は必ず仕事後に顔を出すようにし、できる限りビールやお酒を飲んでわいわい騒いで帰ってくるようにしました。

私以外の3人は同居していて、父も兄もあまりお酒を進んでは飲まないタイプなので、帰りに父か兄に車で家まで送ってもらうようにしていました。

家まで送ってもらう間、車の中で父や兄と話していると、同居している家族と私のように月に2回程度顔を出すだけの立場の人間とは気持ちの負担に大きな違いを感じました。

話が前後するかもしれませんが、私の姓は現在岡田ですが、結婚するまで和田という苗字でした。27歳で結婚して現在子供が三人、上から男男女女です。

妻は三姉妹の真ん中で、岡田の姓を残したいという希望もあり、和田家の次男である私が引き受けました。岡田に入るといいう事が、何となく和田家を捨てるような感じがして、その時は正直言って両親の気持ち等を考えて人生で初めて悩みました。

ちょうど同じ頃、当時の会社の先輩が似たような境遇で、婚約者がお寺の住職のお嬢さんで一人っ子で、私の先輩も一人っ子でした。先輩の場合は、両家共がお互い家に入ってもらいたいと望んでいた為、なかなか折り合いがつかず、私よりも深刻ではありましたが、最終的には私の先輩も会社を辞め、今はお坊さんになっています。

そんな事を思い返していて、私が今回「家族」というテーマでこれまでの人生について考えた時に、最も心に響いているのは両親の「いいよ」という言葉だったと気づきました。

私が人生で「いいよ」と言われた事は二度あります。

1度目は高校2年生の時、夏休みにブラジルにサッカーの短期留学をした時です。

当時所属していたチームで希望者が参加するプログラムでしたが、それほど裕福でなかった家計を考えると、なかなか行きたいとは言えませんでした。

母から「どうするのブラジル？」と聞かれた時、「いや、オレはいいよ」と答えました。

一度は諦めましたが、その後も参加募集締め切りまで、行きたい気持ちは捨てられず、最終的に両親に「やっぱり行きたい」と伝えました。

親としてはかなりショックな一言だったと思いますが、まったく嫌な顔もせず「いいよ」と言ってくれました。

2度目は、和田家から離れる時です。婿に入るかどうかの決断はなかなかできませんでしたが、ほとんど自分の中では心が決まっていたように思います。そんな気持ちは親からは見透かされていたんでしょう。なんとなく両親と結婚の話をしていた時に、「いいんだよ、岡田になって」と切り出されました。正直私は何と言っていいかわからず、「そっか、ありがとう」とだけ言いました。

この「いいよ」という言葉があったから、今私が岡田としてここに立って、こうしてみなさんの前で話をしています。

今回の卓話の機会を頂いたお陰で、最も私にとって大事な「いいよ」の一言に気づく事が

できました。

この機会に感謝しています。

これからの人生で「いいよ」という言葉を長い時間をかけて自分の中で成長させていきたいと思います。



### お祝い事

会員誕生日：浅野 繁 園邊 哲 友野俊政  
渡辺賢司 久保田賢二 山本昭彦  
家族誕生日：宮 寛  
結婚記念日：池田 孝 浅野 了

### ニコニコ

渡辺賢司  
池田 孝

ワンコインニコニコ  
5, 4 3 5 円



### 委員会報告

青少年奉仕：今月のガバナー月信にRYLAの記事が掲載されています。是非ご覧ください。  
親睦委員会：4月17日(火)の第10分区親睦ゴルフの参加費を当日集めさせていただきます。  
参加の皆様は7:30に集合をお願いします。



新入会員の  
山川真哉さん  
明治安田生命保健(相)

### 例会報告

例会数／1767回

例会日／4月10日(火)

出席率／66% 点 鐘／12:30

場 所／れいたくキャンパスプラザ

本日の出席会員／41名中23名)

浅野繁 池田孝 今井昇・大内啓・

岡田勝久・小高 潔・小林 亘・

小林義和・斎藤由紀・櫻井好美・

関口和行・田中清・竹村隆一郎・

妻島不三二・戸部謹爾・鵜田和之・

猫田岳治・宮 寛・森秀樹・山川真哉・

山崎康弘・米谷昌紀・渡辺賢司



例会日／毎週火曜日(12:30～13:30)

例会場／廣池学園キャンパスプラザ

TEL／04-7173-3558 FAX／04-7173-3550

柏南RC事務局

〒270-0011 柏市東上町7-18 柏商工会議所505

TEL／04-7166-3963 FAX 04-7186-6255

E-mail／ckmrc@io.ocn.ne.jp

H P／<http://kashiwa-minami.rid2790.org/>